

キャロッピーデー

6月

《春にんじん》

毎月1回、菊陽町
でとれる食べものを
「キャロッピーデー」
として紹介します。



菊陽中部小校区にある吉岡秀敏さんのにんじん畑と選果場におじゃましました。

11月から1月までに種まきをし、3月末から6月まで収穫する「春にんじん」の収穫真っ最中でした。種まきの時に雨が少ないと芽が出てこない、逆に降りすぎると病気が入ったり腐ったりするので、種まきや収穫の時は天候に左右され、とても気をつかうそうです。



大きな機械を使って
収穫していきます。

広い畑の中に大きな袋が所々に置いてありました。袋の中には収穫された300kgのにんじんが入っています！



選果場に運ばれてきたにんじんは、洗って大きさごとに選別され箱詰めされます。

にんじん畑の土は、黒くふかふかとしていました。「黒ぼく土」というそうです。この土が、にんじんの栽培に適しています。



選果場を案内してくださった、森田敦也さん。兵庫県出身だそうです。熊本にある大学で農業のことを勉強され、農業をするには熊本の土がいい、ということで熊本に残って仕事を続けられています。



箱詰めされたにんじんは、5度に設定された大きな冷蔵庫で出荷を待ちます。春にんじんは水分が多くやわらかく、みずみずしいので、土の中と外気温に差があると割れてしまうそうです。



Q クイズ Q わかるかな？

Q：紫色や白色のにんじんがあるか？

ある ・ ない

*こたえは、次の号でお知らせします。



☆5月クイズの答え☆

< ①葉(は) >

わたしたちは、たまねぎの葉の根元のふくらんだ部分を食べています。